

住民主体で福祉のまちづくりを推進する情報交流紙です

よつ葉のクローバー KIKUSUI

No.17 2009.1.25



福まち通信

菊水福祉のまち推進センター運営委員会
札幌市白石区菊水6条4丁目3-10
電話 011-887-7006 FAX011-887-7006



新春慶賀号

菊水地区の皆様、新しい年を迎えますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

よつ葉のクローバーも今年で足掛け三年目を迎えます。福祉のまちづくりのために、編集員一同今後ともますます紙面の充実に努め、皆様のご期待に応えたいと存じます。



今年も一歩前進します

菊水地区福祉のまち推進センター(福まち)運営委員会による昨年の事業の実績は次のとおりです。

- 1月12日 高齢者と子どもの交流会 (地区会館)
- 2月21日 白石区社協主催「地区福まち推進センター活動交換会」に出席し、菊水地区の広報活動について発表 (区民センター)
- 2月22日 福まち研修会 (地区会館)
「認知症の正しい理解と早めの対応」
- 3月11日 厚別区福まち推進センターとの活動交換会 (東町福社会館)
- 4月11日 福まち推進センター運営委員会 (地区会館)
- 5月16日 菊水地区社会福祉協議会定期総会 (地区会館)



区民センターで、よつ葉のクローバー発行について説明する枝元編集員

- 5月27日 高齢者見守り活動体験発表会 (福まち事務所)
- 6月24日 第1回高齢者ふれあい交流会 (地区会館)
- 8月22日 福まち研修会 (地区会館)
「イザという時の地域の支えあい」
- 9月11日 ふれあい・いきいきサロン菊水地区第一号の「お茶の間
サロン・チャオ」誕生 (枝元宅)
- 9月16日 市社協主催「福祉活動パネル展」に、菊水地区福まち通信
「よつ葉のクローバー」が展示される (オーロラタウン)
- 9月18日 市社協主催「地域福祉市民活動フォーラム」に参加
(札幌市社会福祉総合センター)
- 11月6日 第2回高齢者ふれあい交流会 (地区会館)

(通年事業)

高齢独居者への見守り活動

それぞれの連町の特性にあったやり方で、地域で暮らす高齢独居者の見守り活動を前年から継続して行うとともに、名簿の整理を行っています。

多育てサロンの開催「どんぐりころころ」「おりんおりん」

両者とも定期12回、特別開催2回の計14回開催しています。

福まち通信「よつ葉のクローバー」の毎月発行達成

20年1月発行のNo.6から毎月発行の実績をあげてきました。全市的に見て、福まちの月刊情報紙は珍しいと評価されています。

上町地区年末ジャンボ餅つき大会

昨年の12月21日(日)菊水上町会館において、上町連合町内会主催による「年末ジャンボ餅つき大会」が催されました。



親子でベツタンコ

朝早くから準備を重ね、開会の午前10時には大勢の親子連れが会場を埋め尽くし、その数150人を優に超える状態でした。

会場内は、蒸しあがった米の匂いと、もちをつく音や子どもたちの歓声とで満ち溢れていました。

主催者側のリーダーは、連合町内会の池本副会長で、上白石小学校のPTA会長やおやじの会の会長を務めたことのある地域活動のベテランです。彼の指揮のもと壮年の役員たちがきびきびと働いている姿が印象的でした。

子どもたちは搗きあがったもちを頬張って満足げでしたが、それ以上に、日本の伝統文化に直接触れさせた教育的効果は、子どもたちに計り知れない影響を与えたものと思います。

子どもたちは搗きあがったもちを頬張って満足げでしたが、それ以上に、日本の伝統文化に直接触れさせた教育的効果は、子どもたちに計り知れない影響を与えたものと思います。

(谷内山編集員)



保健福祉部総務課村山英彦課長が講演



ふれあい交流会ではじめての写真展を開く



20.1.12 高齢者とこどもの交流会での溢れる笑顔



大盛会の餅つき会場



熱いうちにちぎって丸めろ!

福祉のお仲間訪問

菊水地区には、福祉に関するいろいろな社会資源があり、それらの一つひとつ

に福祉のために頑張っているお仲間がいます。第17号では母子生活支援施設をご紹介します。

札幌市しらぎく荘



しらぎく荘の玄関

菊水5条2丁目に大きな木が茂っている菊水公園があります。その隣に市立青葉保育園が入っているクリーム色の4階建てのビルがあることは皆さんご存知と思います。ですが、そのビルの3,4階に「札幌市しらぎく荘」があることは、余り知られていないでしょう。

その理由は、玄関が中通に面していることと、過去に「母子寮」と呼んでいたこの施設が、地域の中でひっそりと存在していたということが原因なのです。

この施設は、児童福祉法に定められた福祉に欠ける児童とその母を援助するために設けられています。

設置されたのは昭和49年の4月で、市内にある同種施設のうち市の直営で運

営されてきた唯一の施設でした。平成18年4月に指定管理者制度により(社団)札幌市母子寡婦福祉連合会に委託され、現在は同社団法人が運営しています。詳しいことは区役所保健福祉部にお問い合わせください。

ここでは現在14組の母子世帯が生活しています。14人のお母さんたちは皆働いて生計を維持しています。20人の子どもたちは小学校や保育園に通ったりしていますが、お母さんが仕事から帰ってくるまでは、施設の少年指導員



子どもたちは学習室でお勉強

や保育士の先生たちによってしっかりと守られています。

お母さんたちは、共同生活を維持するために母の会をもっていて、地域の町内会にも加入し、その活動にも参加しています。

施設長の恩田芳子さんは「母子世帯の自立にとって、現在の社会情勢はとても厳しいのですが、私たちのサービスを利用し出来るだけ早く自立していただけるよう願っています」と話してくださいました。

連絡先 菊水5条2丁目1-4 811-3053

(枝元編集員)

高齢者と子どもの交流会

1月10日(土)、菊水地区会館で恒例の「高齢者と子どもの交流会」が開催されました。これは高齢者と子どもとの交流を通して、地域の一体感をより深めてもらおうと、菊水地区まちづくりネットワーク会議が主催して行われているものです。



しらぎく荘は、この建物の3階と4階にあります



恩田施設長さん

札幌市母子寡婦福祉連合会とは

母子・寡婦の福祉の推進を図るために設けられた10区の母連の健全な発展の推進と、会員相互の連絡および指導機関として、昭和29年4月に設立され、昭和45年から社団法人となる。

生活支援事業・調査研究事業・広報活動事業・児童の健全育成講座事業・奨学金給付事業・就労対策事業・売店事業など多角的に事業を展開している。

指定管理者制度の発足に伴い、札幌市母子寡婦福祉センターおよび母子生活支援施設札幌市しらぎく荘の管理運営にも携わっている。

連絡先 中央区大通西19丁目
札幌市社会福祉総合センター3F
電話 011-631-3270

交流会の状況

午前10時の開会前から続々と参加者が集まってきました。菊連協女性部のお母さんたちの受付が終わると、2階の会場は次第に盛り上がってきます。

真鍋会長の挨拶の後、ステージに上がった子ども会ジュニアリーダーの指導により、早速体を動かす準備体操をしました。子どもと高齢者の混成チー



ミニボーリング



輪投げ

ムを作ります。丸く輪を作って子どもたちとお手玉に興ずるご婦人たちは、すっかり娘時代の昔に返って夢中です。

お楽しみのランチタイムは、おにぎりとお汁で、久しぶりに大勢で食べる食事会にお友達同士話の花が咲いています。この昼食は、毎回女性民生委員さん始め地域のボランティアの方々などが前日から材料を仕込んで作ってくださっています。いつも有難うございます。

さて、昼からの催しは、最初に午前中のゲームの表彰式があり、1位から3位までのチームに賞品が授与されました。おめでとうございます。



白毛さんと元気君

このあと、去年もボランティアとして参加して下さった芸名白

毛満さんの腹話術です。子どもたちはすっかりファンになっていて白毛さんが登場すると、もう興奮の坩堝です。人形の元気君とも顔なじみで身を乗り出して元気君とおしゃべりを始める始末です。参加した高齢者の皆さんも、子どもたちのその熱気に誘われ大きな笑いの渦を作っていました。

参加者のお一人である高齢のご婦人は、「ひ孫のような子どもたちと遊んだり、新しい友達とお話できてとても楽しゅうございました」と喜んで帰られました。

(枝元編集員)

ボランティア・スタッフ紹介

この会にはいろいろな団体からスタッフがボランティアとして参加してくださっています。地域住民団体のほかに、「札幌市三代交流会白石バラの会さん」は昔遊びのベテランですし、「白石区子ども会連絡協議会さん」からは、ジュニアリーダーが10名も参加してくれました。子どもたちは、東橋小学校のミニ児童会館、菊水やよい児童会館、菊水青空子ども会などから参加してくれました。そんな人たちのボランティア活動によってこの会が支えられているのです。有難うございました。

この会にはいろいろな団体からスタッフがボランティアとして参加してくださっています。地域住民団体のほかに、「札幌市三代交流会白石バラの会さん」は昔遊びのベテランですし、「白石区子ども会連絡協議会さん」からは、ジュニアリーダーが10名も参加してくれました。子どもたちは、東橋小学校のミニ児童会館、菊水やよい児童会館、菊水青空子ども会などから参加してくれました。そんな人たちのボランティア活動によってこの会が支えられているのです。有難うございました。



コマ回しに挑戦



お手玉遊び



さら回しに挑戦する2年生

編集後記

福まち通信「よつ葉のクローバー」にとって、今年も高齢者と子どもの交流会で年が明けました。

世の中は世界経済の同時不況ということで、毎日暗いニュースばかりですが、せめて私たちの心の中だけは、福祉のまちづくりの夢や希望を抱えて、温かく明るく過ごそうではありませんか。(枝元編集員)